

令和4年度 第2回（第21回）外部アドバイザー委員会

1 開催日時 令和5年3月20日（月）14時00分～15時30分

2 開催場所 倉敷市立短期大学 大会議室

3 出席者

（1）委員 出席6名

尾崎委員、山本委員、佐藤委員、池葉須委員、海本委員、江島委員

（2）教職員 出席9名

安達学長、木戸保育学科長、岩崎服飾美術学科長、大原図書館長、家守事務局長、岡事務局主幹、眞次学生部長、松内学生部主幹、松本会計年度任用職員

（3）オブザーバー 出席1名

余村企画経営室長（企画財政局企画財政部）

4 次第

（1）安達学長挨拶

（2）報告・審議事項

（3）その他

（4）次回委員会開催時期について

5 外部アドバイザー意見及び質問

○ 質問1

インターンシップに出る学生の学びを深める為にアドバイスをいただきたい。

【回答】

服飾美術学科という非常に特異な学科を持っているので、デザインやパターン、縫製、物作り、希望する分野で企業の特性と合わせて選択すればよいのではないかと。

○ 質問2

インターンシップに行くまでに、企業が大学に求めるものはあるのか。

【回答】

学生側が、自分たちが求めるものを明確にしておくこと。インターンシップに協力的な会社を見つけてマッチングをしていく、その為には学生側の意欲が必要。

○ 質問3

障がい学生支援について、小規模大学で必要なことについて助言いただきたい。また要支援の学生に対して支援の事例を教えてください。

【回答】

教員側の意識が大事。発達障がいについて知識が深まってきたが、まだまだ個人個人の対応が難しいと思う。

○ 意見 1

公立短期大学はどのくらい減少したのか、なぜ減少したのか。また、現在ある短期大学はどうやって維持してきたのか。

【回答】

四年制大学への改組を図った大学もある。本学には特色のある教育があると、成果を挙げ、世間に示すことが必要だと思う。

○ 意見 2

多様性の時代、様々な学生が入学してくる。その学生を2年間で、いかに教育して立派な社会人として送り出していくか。短大には努力が必要だと思う。

○ 意見 3

短大で学んだあと、4年制の大学に進学する学生もいると思う。編入学する学生の受入れ先は連携しているのか。また受入れている学校は多いのか。

【回答】

服飾美術学科では今年度、専攻科に行く学生が11名。他大学へ編入する学生が数名いる。保育学科では他大学へ3年次編入する学生が数名いる。

○ 意見 4

服飾美術専攻科の学生は非常に個性的でよい。専攻科の定員増は正解だと思う。専攻科の2年間で個性にあった様々な活動をする学生の姿を見ていると、非常に充実していると思う。専攻科に短大のPRを持ってきてはどうか。

○ 意見 5

意見4に加え、服飾系のライセンスや資格を取ることは出来ないのか。ここにくれば全てが学べるという、知識や技量を身に付けることは可能か。

【回答】

本学で取れる資格は、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、服飾造形のパターン検定、衣料デザイン系ではカラーコーディネート、ビジネス系ではビジネス検定や秘書検定などがある。

○ 意見 6

資格を取得は就職に有利になるのか。

【委員からの回答】

資格取得と社内で活躍しているかは関係ない。即戦力となる服飾系の資格は繊維製品品質管理士の資格がある。これは目指していい。採用に結び付くところはあと思う。

【回答】

3年次編入の質問について、今年度の卒業生114名の内、23名が進学。

○ 意見 7

資料に就職率74.2%とあるが、就職していない学生の状況は？

【回答】

その数値には進学する学生や、就職を希望しない学生も含まれている。自分の夢を叶えたいと起業する学生もいる。

○ 意見 8

海外の大学との姉妹校連携はされているのか。

【回答】

両学科が交互で2年に一度、海外での研修を設けているが、この3年間は実施できていない。この間は英語教員が中心となり、希望者を募りオンラインでの対話をしている。保育学科は令和6年度に実施予定。

○ 意見 9

専攻科に行き、学位を取得し就職する中で有利なことはあるのか。

【回答】

保育学科では幼稚園の1種免許取得となり、実質4年制大学卒と同じ資格となる。短大卒と4年制大学卒では給料面で差があるが、優遇される。また、将来的に園長職に就ける点で1種免許と2種免許では大きく影響する。

○ 意見 10

歴然とした差がないと4年制大学である必要がない。国家試験に受かるなら専攻科に進むメリットがある。無理なら4年制大学が有利となる訳で短大には厳しいのではないか。短大でも外国人の受け入れを考えてみてはどうか。

【回答】

意見10の回答として、保育職に関して短大と4年制大学の初任給では年間30万円ほどの差となる。しかし2年間早く就職すると生涯賃金の差となる。

○ 意見 11

一つのところにずっと就職して云々という考えは変わってきているのではないか。短大の魅力はあると思うので、PRすれば良いと思う。

【回答】

専攻科の学生は相手が受け入れてくれる人材である。本学の学びの中で町づくり・町おこしにポイントを当てているので、その成果が出ればと思う。

○ 意見 12

倉敷市立短期大学に入学してくる学生は真面目で学力も高い学生だと思う。10代で自分の将来を全て決めるような職業選択をして良いか迷いがあるのは当然。大学で色々な人に出会い、考えに触れ、自分の考えを変えていくこともあると思う。その場合、4年制大学より軌道修正しやすいのではないか。

【回答】

過去、短期大学は2年間で完結した教育機関であるとの考えであった。しかし、2年間の学びを終えたら、それはファーストステップで、そこからどこに向かうのか、その先は別の話である。短大は新たな役割を模索しているところである。出口が色々あってよいという委員の考えに賛同する。2年の学びを終えた段階で、就職する、進学する、或いは別のところに入り直して学ぶ。様々な選択肢があると思う。

○ 意見 1 3

学習意欲を持つ学生が、他の大学に編入しやすくなる仕組みがあるか。

○ 意見 1 4

専攻科学生は意思がはっきりしている学生が多いと感じる。ファーストステージからセカンドステージへ、自分で選んできた子達だと感じる。短大の移転とともに、短大のポイントを考えられてはいかがか。

○ 意見 1 5

7年に一度の認証評価はいつか。

【回答】

来年度が資料作りで、再来年度が認証評価となる。

○ 意見 1 6

短大の魅力づくりをすることが必須。夜間や通信制の高校に対して学生募集の視野を広げられてはどうか。

【回答】

服飾美術学科でアクションを起こしている。つい最近、通信制の高校を訪問して知識を収集した。

○ 意見 1 7

服飾美術学科は児島にあるからこそ存在感がある。我々は小さなスタートアップ企業を応援している。今は多様性が非常に重視される。自分オリジナルをネットで売ることができる。また働き方改革で就職に関する意識も変化している。児島には繊維に明るい方が多いので、独立したいと思い短大にきて、知識を身につけ、商工会議所の制度を使って児島商店街に店を出すこともあり得る。即戦力・独立の服飾美術学科となればよいのでは。

○ 意見 1 8

保育学科から子供服の現場の声が聴けるといいのでは。

○ 意見 1 9

児島地区に大学があること誇りであり支えでもある。移転が具体化し今後が楽しみだと思う。いい場所に移転し、児島の人に愛される短大として発展して欲しい。